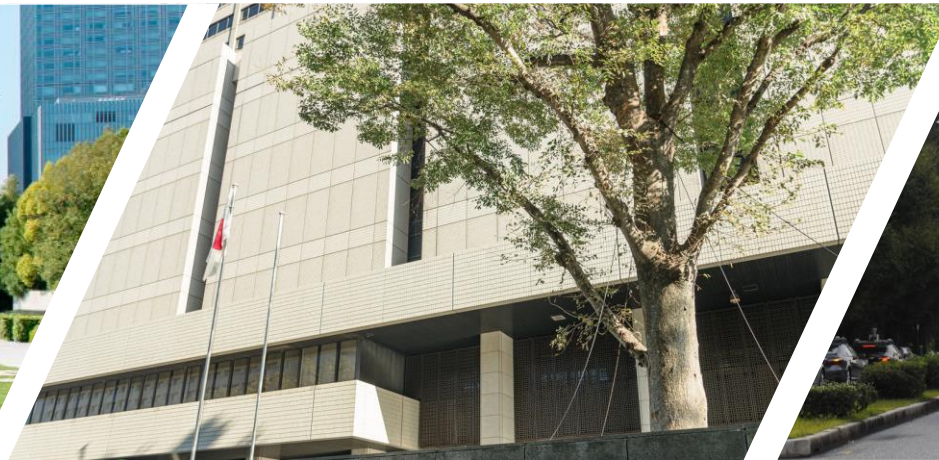




# 日本国憲法⑮

## 「司法」





# 講義の内容と到達目標

## 講義の内容

本講義では司法を取り扱います。裁判所はわれわれの生活上の紛争を審査し、平和的に解決する機関であるとともに、三権分立原則のなかの1権を担う機関です。2つの側面をもつ司法権の担い手である裁判所は、具体的にどのような権限を持っているのでしょうか。今回のテーマは、法を扱う上で極めて重要なテーマでもあるので、しっかりと身につけてください。

## 到達目標

- 司法とは何かを理解し、説明することができる。
- 司法権の限界がどこにあるのかを理解することができる。
- 裁判官の独立がなぜ必要なのか理解し、説明することができる。
- 違憲審査制について理解することができる。

# 今回の講義の 目次

1. 裁判所の役割

2. 裁判の内容

3. 「司法権の独立」の意義

4. 違憲審査制の意義



# 講義の見取り図



国民の人権を保障するために、国家権力の濫用を抑制する法規範



# 今回の講義の問い①

---

## 1. 裁判所の役割

司法権の担い手である裁判所は、  
**何をするところ**でしょう  
か？

A decorative background on the left side of the slide featuring several 3D question marks. One large orange question mark is in the foreground, while several smaller black ones are scattered in the background.

# 今回の講義の問い②

---

## 2. 裁判の内容

裁判は**どのように行われ**  
**ている**のでしょうか？

A decorative background on the left side of the slide featuring several 3D question marks. One large orange question mark is in the foreground, while several smaller black question marks are scattered in the background.

# 今回の講義の問い③

---

## 3. 「司法権の独立」の意義

「司法権の独立」とは**どのような**  
**意味**なんでしょうか？



# 今回の講義の問い④

---

## 4. 違憲審査制の意義

裁判所には違憲審査制度がありますが、裁判所が**法律を審査すること**で**何を守っている**のだらう？





# 1. 裁判所の役割

司法権の担い手である裁判所は、**何をするところ**でしょうか？





# (1) 司法権 と裁判所

## 第76条1項

- 「すべて司法権は、最高裁判所及び法律の定めるところにより設置する下級裁判所に属する」
- 裁判所が司法権を独占



## （２）司法権 の意味とその 範囲

### 司法権の意味と範囲

- 具体的争訟について、事実を認定し、それに法を適用して裁定を下すこと
- 民事訴訟、刑事訴訟、行政事件訴訟などが対象





判断します！



## (3) 法律上の争訟

### 裁判所法3条1項



- ・ 裁判所が扱う事件は「**法律上の争訟**」でなければならない
  - ① **当事者間の具体的な権利義務ないし法律関係の存否に関わる紛争**
  - ② **その紛争が法律を適用することによって終局的に解決できるもの**





井

法律上の争訟ではない争い



判断できません！



## (4) 司法権の限界①



「法律上の争訟」にあたらなないもの

- ①学問上の議論、主観的意見・感情の存否やその当否など
- ②宗教上や信仰上の教義や価値観についての争いなど

統治行為

部分社会

国会の権限

内閣の権限

判断できないな・・・



## (4) 司法権の限界②

### 「法律上の争訟」の例外



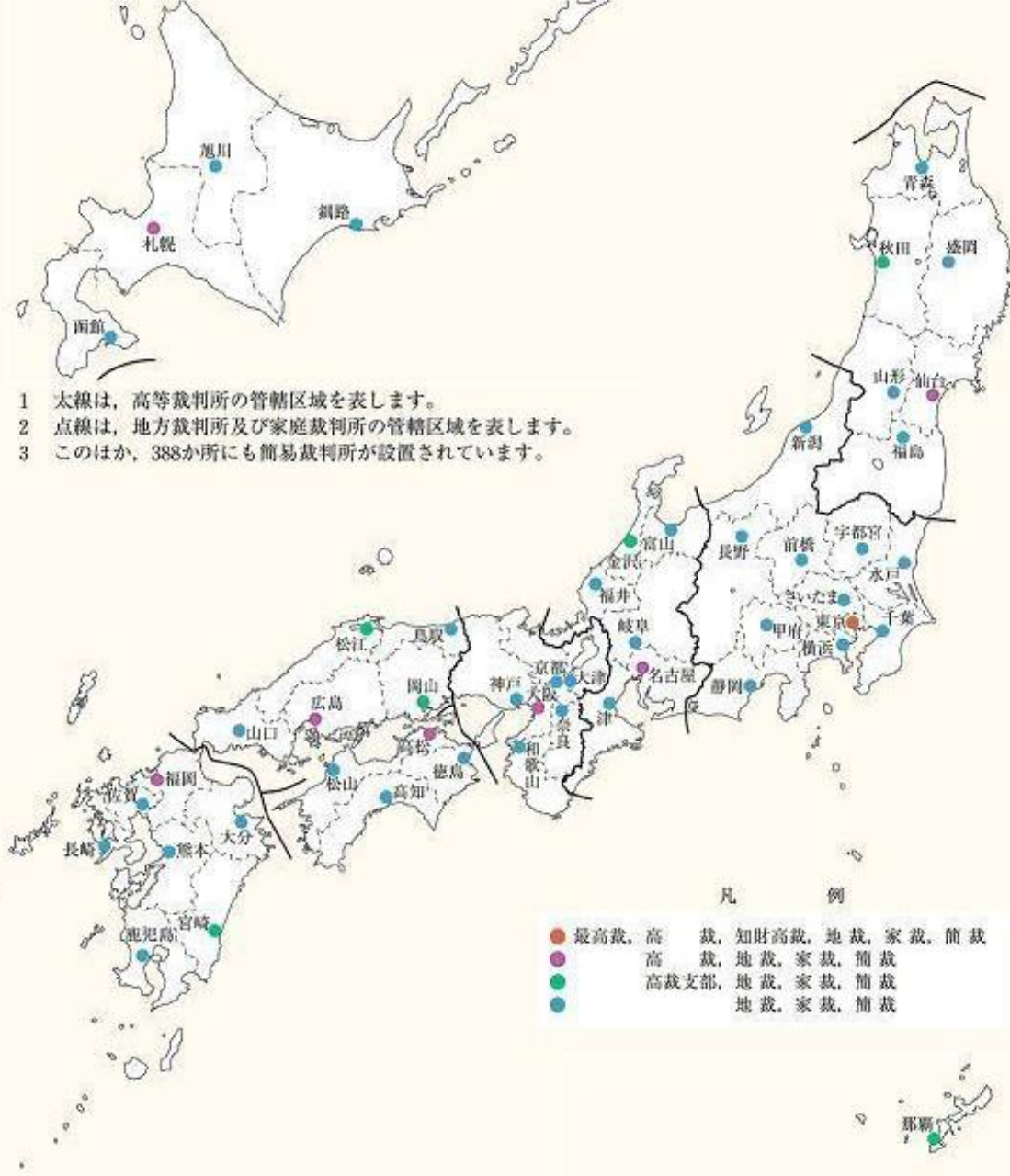
- ①憲法が条文上認めた例外
- ②国際法上の例外
- ③国会や内閣の**自由裁量行為**についての例外
- ④**統治行為論**に基づく例外
- ⑤団体の内部事項に関する行為についての例外（**部分社会の法理**）

## 2. 裁判の内容

裁判は**どのように行  
われている**のでしょうか？



# (1) 裁判所の種類・権限



## 裁判所の種類



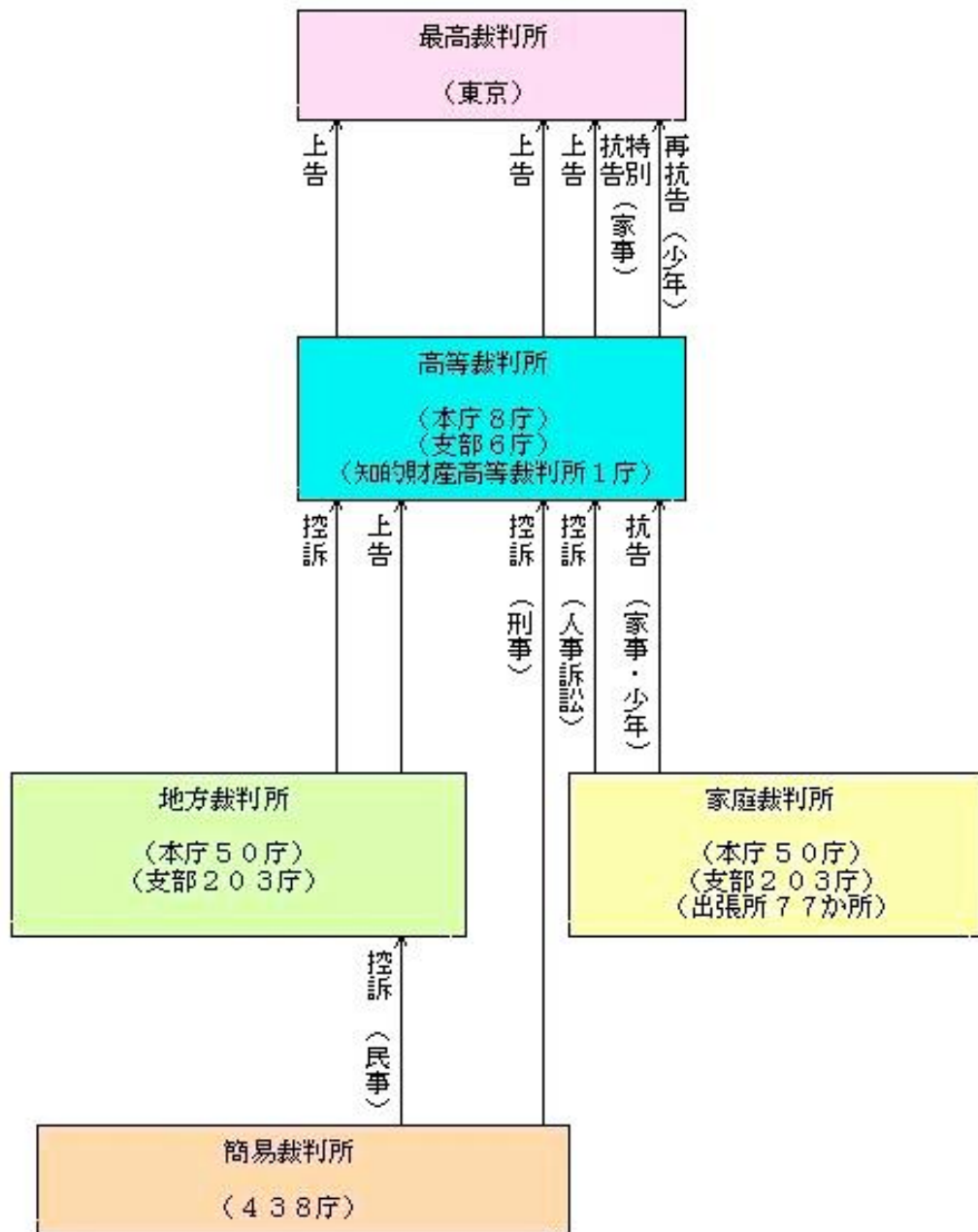
- ・ 最高裁判所、下級裁判所（高等裁判所、地方裁判所、家庭裁判所、簡易裁判所）
- ・ 上訴（上告・控訴）

## 最高裁判所

- ・ 小法廷・大法廷
- ・ 国民審査制度



# (1) 裁判所の種類・権限



## 裁判所の種類

- ・ 最高裁判所、下級裁判所（高等裁判所、地方裁判所、家庭裁判所、簡易裁判所）
- ・ 上訴（上告・控訴）

## 最高裁判所

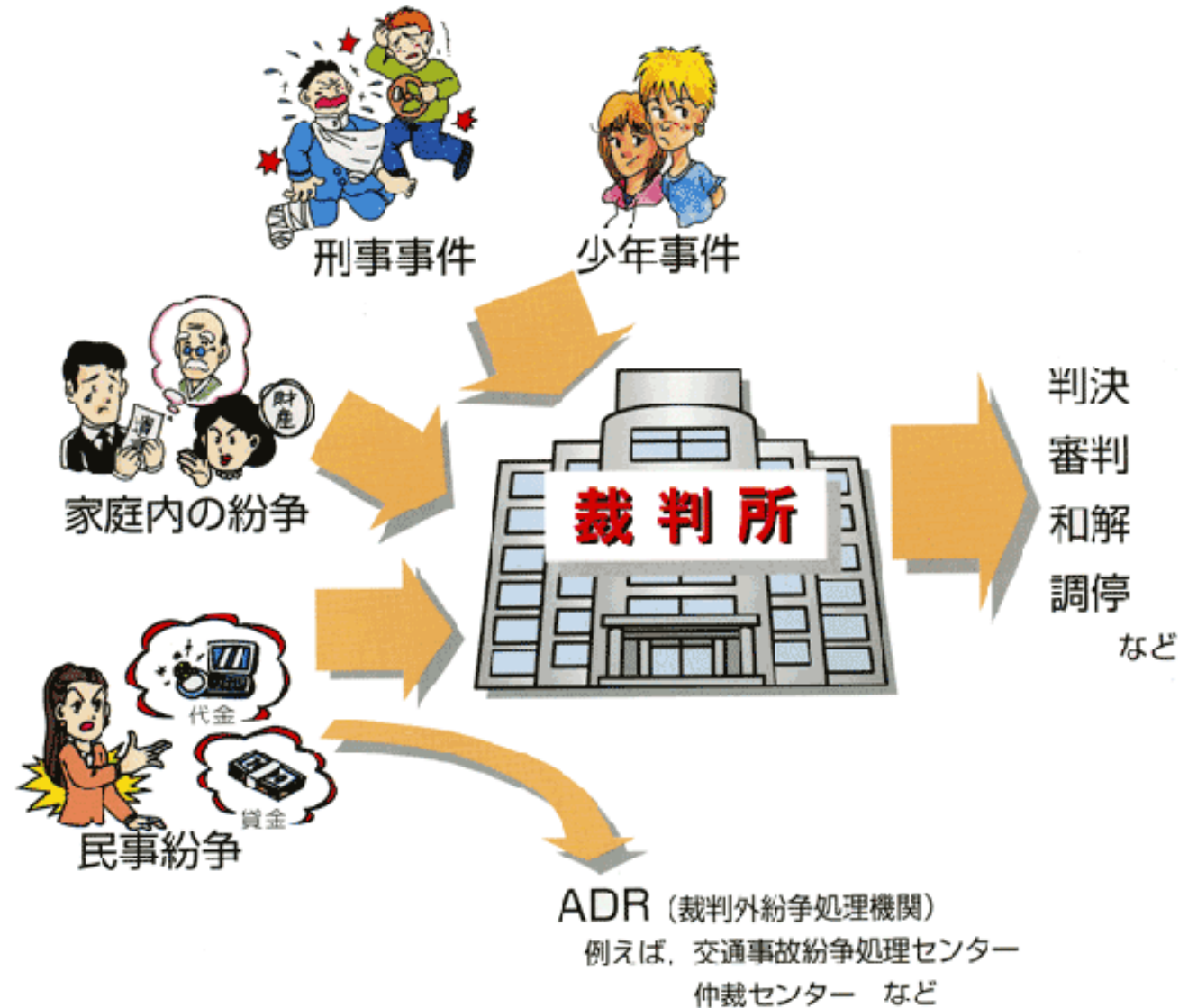
- ・ 小法廷・大法廷
- ・ 国民審査制度

## (2) 裁判制度

### 裁判の形式



- **刑事訴訟**：人が罪を犯したかどうか、犯した場合にどのような刑罰が科されるかを決定する裁判
- **民事訴訟**：市民同士の権利義務に関する紛争を解決する裁判



## 法廷の様子

1人の裁判官が裁判する場合を1人制、  
複数の裁判官が協議して裁判する場合を合議制といいます。

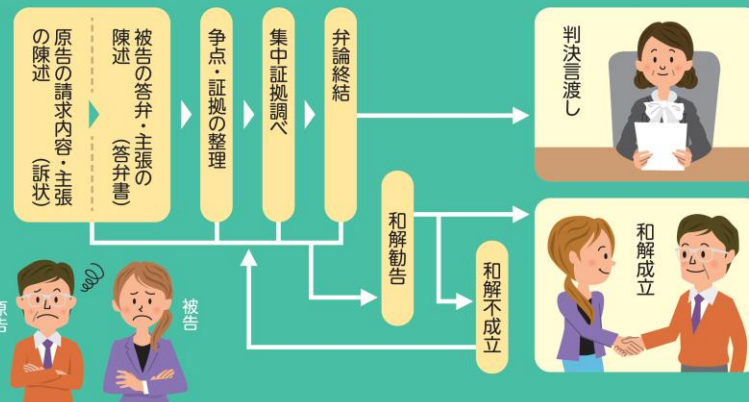


※上の図は刑事合議法廷の例です。裁判員裁判では、裁判官と裁判員の席として裁判官の席の左右にさらに席が設けられます。また、民事裁判では、検察官の席に原告の席が、弁護人の席に被告の席が設けられます。  
なお、法廷内の配置は裁判所によって異なります。

## 法廷での手続の流れ

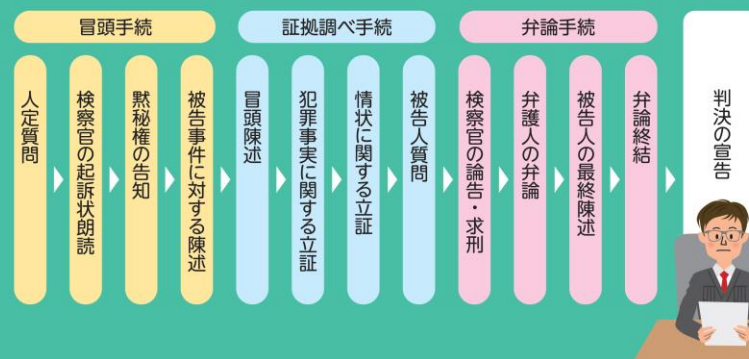
### 民事裁判

貸したお金を返してくれないというような日常生活で起こる法律上の争いを判断して、解決するのが民事裁判です。



### 刑事裁判

罪を犯した疑いで起訴された人が有罪か無罪か、また、有罪であればどのような刑罰を科するかを決めるのが刑事裁判です。



【参考】  
刑事・民事  
裁判



## (3) 裁判員制度

### 選任方法

- 20歳以上の日本国民で選挙権のある者
- 無作為選出
- 除外対象者、辞退

### 対象事件と量刑

- 刑事事件、一定の重罪事件
- 評議によるが有罪とするには1人は裁判官の賛成が必要





### 3. 「司法権の独立」の意義

---

「司法権の独立」とは**ど**  
**のような意味**なので  
しょうか？



# (1) 「司法権の独立」の意義

## 意義・理由



- ① 政治的権力からの**干渉の排除**
- ② 政治過程で排除されやすい**少数者の権利の保護**





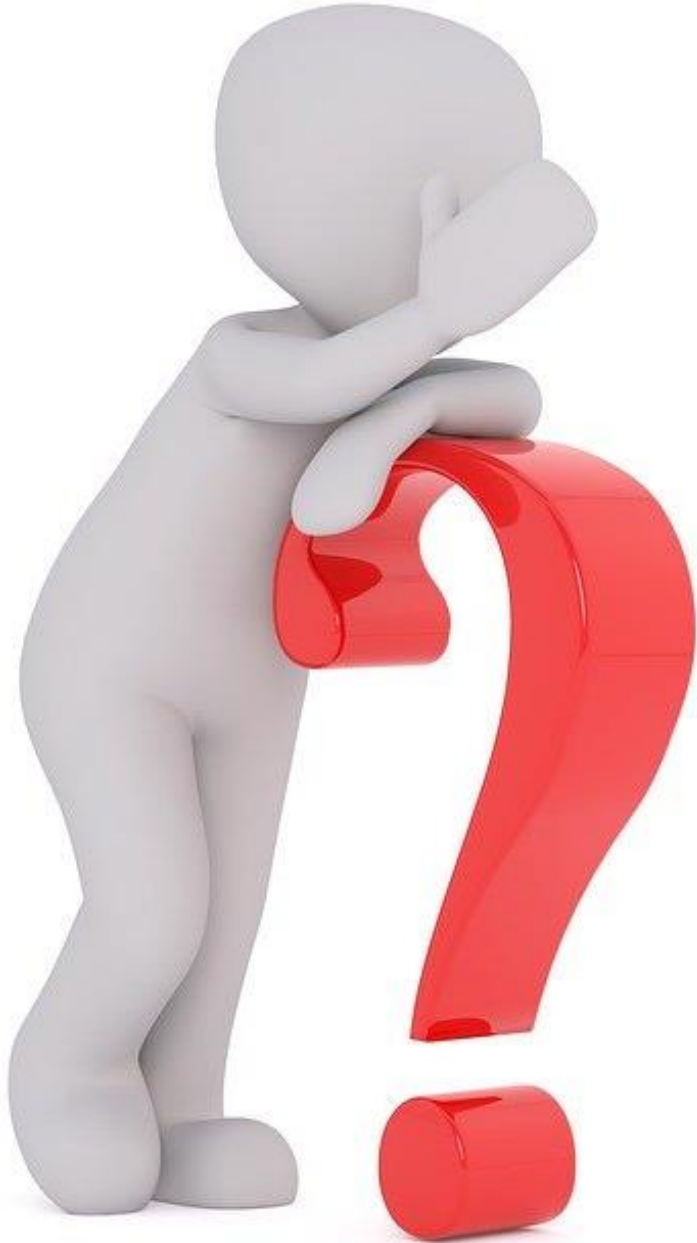
## (2) 「司法権の独立」の内容

### 司法権の独立の内容



① 司法権の独立

② 裁判官の職権の独立



## 4. 違憲審査制の意義

---

裁判所には違憲審査制度がありますが、裁判所が**法律**を審査することで何を**守っている**のだろうか？



# (1) 違憲審査制の意義



## 第81条

「最高裁判所は、**一切の法律、命令、規則又は処分が憲法に適合するかしないかを決定する権限を有する終審裁判所である**」

⇒ 違憲審査権

⇒ 「**法律**」による人権抑  
圧への反省

## (2) 違憲審査制の種類

### 付随的違憲審査制



- ・ 具体的な事件を解決する審理に付随する形でのみ、法律や処分等の憲法適合性を審査する制度⇔抽象的審査



## (2) 違憲審査制の種類

### 抽象的違憲審査

- 通常の裁判所とは異なる憲法裁判所が、**具体的な事件とはかかわりなく**法律や処分等の憲法適合性を審査する制度



# (3) 違憲判決の効果

## 「違憲判決」

- 具体的な事件の当事者にのみ効果がある  
→ 個別的効力 (⇔ 一般的効力)
- 法律に対する違憲判決 ⇒ 有効

## 違憲判決の種類

- 法令違憲判決
- 適用違憲判決





# まとめ



## 1. 裁判所の役割

- 司法権の意味、「法律上の争訟」、司法権の限界

## 2. 裁判の内容

- 裁判所の種類、最高裁判所

## 3. 「司法権の独立」の意義

- 「司法権の独立」の意義・内容

## 4. 違憲審査制の意義

- 違憲審査制の意義・種類・効果